

上尾中央総合病院 臨床工学科 一般

新関大喜

自己紹介

埼玉県出身。
北里大学卒業。



掲載媒体: 学術誌論文 Catheterization and Cardiovascular Interventions (CCI)

タイトル: Be aware of Intracardiac Potentials Induced by Intravascular Lithotripsy

○執筆活動をされた経緯を教えてください。

カテーテル治療で用いられる IVL の放電が、ペースメーカーの誤作動を引き起こす可能性について懸念を抱き、研究を行いました。IVL の放電はペースメーカーへ直接的には影響を及ぼさないとされていますが、in vitro および in vivo の検証により、影響を及ぼす可能性があることが明らかになりました。そのため、臨床工学技士としてこの現象を世界へ発信すべきだと考え、執筆に至りました。

○執筆活動していく中での苦労や工夫したところを教えてください。

英文学術誌投稿であり、構成や表現に苦労しました。特に「科学的根拠を示しつつ、臨床的意義を明確にする」ことを意識しました。英文校正や図表の精度にもこだわり、国内外の先生方から助言を受けながら何度も推敲を重ねました。

○執筆活動をされてみていかがでしたか？

一つの臨床疑問を形にする過程を通じて、論理的思考と発信力の重要性を実感しました。研究は地道な作業の積み重ねですが、学会発表や国際誌掲載に至ったときの達成感は格別でした。今後も現場発の知見を世界に発信したいと感じています。

○学生へメッセージをお願いします。

論文執筆は、自らの経験や発見を「世界に伝える」第一歩です。困難に感じることもありますが、最後まで書き上げた経験は業績になります。日常臨床への疑問に、ぜひ挑戦してみてください。